

本箱

Books column

本学の先生方が執筆された新刊情報。
授業の中だけでは見られない
先生の違った一面に触れることができます。

 <p>秋野有紀(ドイツ語学科准教授)著 『文化国家と「文化的生存配慮」』 美学出版 2019年2月 3518円</p> <p>芸術文化の領域にも押し寄せる市場自由化の波。ドイツの国民国家成立期から現代までを視野に法、概念、理論をめぐる議論をひもとき、「文化的生存配慮」の理論的基盤をとらえ、今日の公的文化政策の中核とミュージアム像を考察します。</p>	 <p>藤田永祐(名誉教授)訳 (ジェイン・オースティン 著) 『説得されて』 春風社 2019年1月 2500円</p> <p>周囲の説得で婚約を解消したアンは8年ぶりにウェントワース大佐と再会し、物語は静かに動き出す。2006年刊行のケンブリッジ版を底本とした21世紀のオースティン。流麗な現代日本語で作者最後の完成作品を読む。</p>
 <p>陰山孔貴(経営学科准教授)著 『脱コモディティ化を実現する価値づくり 競合企業による共創メカニズム』 中央経済社 2019年2月 2400円</p> <p>市場に参入企業が増加し、差別化が困難になり、価格競争の結果、企業が利益を上げられないほどに価格が低下する「コモディティ化」の罠。本書ではある企業ブランドを事例に、競合企業と製品価値を共創することで、脱コモディティ化を実現する方法を探る。</p>	 <p>陰山孔貴(経営学科准教授)著 『ビジネスマンに経営学が必要な理由』 クロスメディア・パブリッシング 2019年2月 1480円</p> <p>シャープ株式会社で経営再建に携わった陰山准教授が、経営学の文献や資料、インタビューした経営者の方々とのエピソード、自身の体験談などを交えて「経営者の頭の良さ」の正体とそれを手に入れる方法について解説します。</p>
 <p>金子芳樹(英語学科教授)編著 『現代国際政治(第4版) — 変容するグローバル化と新たなパワーの台頭』 ミネルヴァ書房 2019年3月 3000円</p> <p>従来の国際関係の常識が通用しなくなり、混沌と複雑化が急速に進む現在の国際社会を的確に理解し、今後を見通すポイントは何か。冷戦後の国際政治の展開を再整理するとともに、トランプ外交やEU危機後の最新の情報や分析を盛り込んで解説した入門書。</p>	 <p>浅岡千利世(英語学科教授)共著 『リフレクティブ・プラクティス入門』 ひつじ書房 2019年3月 2200円</p> <p>リフレクティブ・プラクティスの理論的背景、実践方法、研究手法等を紹介。また、教師教育におけるリフレクティブ・プラクティスに焦点をあて、教員養成段階の学生と現職教師のふり返りの実践方法や著者のリフレクティブ・プラクティスとの関わりも述べた一冊。</p>

■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。